

令和7年度

事業計画書



一般財団法人京都市都市整備公社

1 事業運営方針

観光関連産業の回復傾向を背景に2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催によって関西圏での駐車場需要の高まりが予想され、駐車場事業をはじめ円滑な道路交通と交通安全の実現を念頭に置いた事業運営に取り組む方針です。

年度当初となる4月からは大阪市の選定を受けて大阪市キタエリア及びミナミエリアの駐輪場の管理運営業務を開始いたします。大阪市を代表する日本有数の繁華街において合計1,600台規模となる駐輪場を運営することで、これまで築き上げた京都市内主要観光地の大型駐車場（京都駅、二条城、岡崎公園、清水坂、嵐山、銀閣寺等）の管理実績や、京阪神エリアで展開中のコインパーキング等の運営実績と共に、今後の自治体等公募案件の獲得に繋げるほか、事業をさらに発展させてまいります。

また、新社屋建設に伴う本社移転及び新事業であるホテル開業に向けた業務は加速度を増しています。本社移転とホテル開業準備は、お客様、取引先、地域の皆様の力添えを得て稼働し始めました。この追い風を受けて、さらに上昇気流に乗るために、従業員全体のスキルアップと組織力の強化を図り、全力で取り組んでまいります。

これからも安定した経営基盤の確立と全てのステークホルダーとの良好な関係を構築し、皆様に必要とされる企業を目指してまいります。

2 事業計画

駐車場事業

【環境予測】

大阪・関西万博（4月13日から10月13日まで184日間開催）による人流及び物流の活発化、関西圏での駐車場需要の高まりが予想され、お客様のニーズに沿ったサービス供給、周辺他社の頻繁な料金改定に留意した営業体制が必要です。

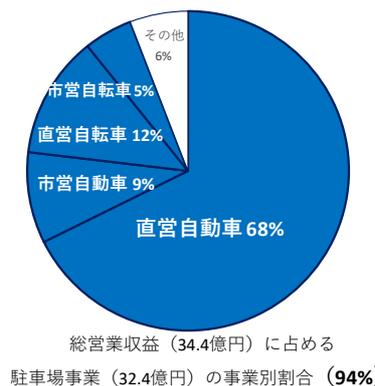
【事業戦略】

基幹事業である駐車場事業は、大型駐車場の収益性向上とコインパーキングの採算性確保を念頭に、直営事業の更なる強化と市営事業（公募案件）の安定管理を軸とした調和的發展に取り組めます。

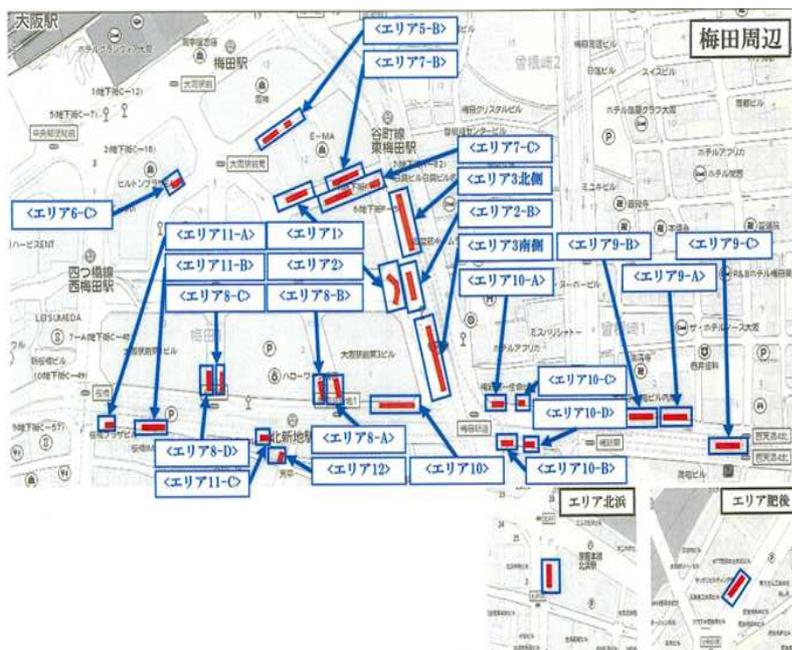
【主な取り組み】

●大阪市キタエリア・ミナミエリア駐輪場管理運営を開始

合わせて1,600台規模となる大阪市キタエリア及びミナミエリアの自転車等駐車場の管理運営業務を受託します（令和7年4月開始）。これまでの実績を活かし、大阪市



内に分散する主として歩道上の駐輪場について、安全確保を第一に、施設の維持管理と運營業務に取り組みます。



(キタエリア及びミナミアリア管理駐輪場位置図)

排水機場事業

【環境予測】

発達した雨雲が連なる線状降水帯の発生予測は難しく突発的な大雨と長時間の監視体制に備えた出動対策が必要です。

【事業戦略】

京都市排水機場保守管理及び監視業務の受託責任を果たすため、安定した管理体制の確立に向け引続き人的資本投資に注力します。

【主な取り組み】

●安定した管理体制に向けた人的強化

専門知識と技術の継承を担う人材を育て、監視体制の安定化を図ります。経験者の知識と技術を新たな人材に継承する中で、作業手順の再確認や改善点の検討を行うほか、チーム全体で危険箇所や事故災害に繋がる可能性の要因を共有し、安全対策の徹底と常時万全の管理体制を維持します。

レンタル事業

【環境予測】

環境意識の高まりやアプリの活用により手軽に利用可能なこと等を背景に市場は拡大しており、駅やバスターミナル等、公共交通とのハブ的役割を担うポート設置も進み、今後も需要が期待されます。

【事業戦略】

レンタサイクルはリニューアルした貸出システムを活用し、お客様のニーズに合わせた自転車（電動、子ども乗せ等）提供を充実させます。シェアサイクルはポート併設駐車場の設置に取り組み、広報を強化します。

【主な取り組み】

● レンタサイクル

京都市内3店舗で展開中の「くるっとパークレンタサイクル（祇園四条店・京都駅南店・平安神宮前店）」は駐車場併設型であり、自転車で京都を巡るスタイルを提案するものです。

各店舗で実際にご利用いただいた際のスタッフからの声掛けに加えて、クチコミキャンペーン等を通して収集したお客様の声を受けて改良を重ね、より良い仕組みづくりに繋げていきます。

レンタサイクルは駐車場を利用されない海外からの観光客等、車以外の手段で来店されるお客様向けの広報にも力を入れ、収益増に取り組みます。

● シェアサイクル

電動アシスト自転車によるシェアサイクル「CLEW」への事業参画も継続し、駐輪ポート確保のための駐車場空きスペースの提案、自転車適正配置業務や電動バッテリー交換業務を効率化し、作業件数を増やすことで収益増を図ります。

ホテル事業

【環境予測】

新たにホテル事業者として参入することで京都観光の発展に取り組むとともに、新規事業者としての成長可能性に期待できるものと考えます。

【事業戦略】 営業収益

海外の予約サイトやインフルエンサー等を効果的に活用し収益増を図ります。

【主な取り組み】

● ホテル「琥珀」開業

令和8年3月のホテル「琥珀」開業に向けた準備を着実に進め、ホテル事業者としてのノウハウ習得に努め、海外からの旅行者にも対応すべく外国語案内や各種設備の充実、優秀な人材確保と従業員教育に取り組みます。

【令和7年度事業計画に基づく損益見込】

(単位 千円)

勘定科目	金額	
【営業収益】		
事業収入	3,394,173	
事業付随収入	48,337	3,442,510
【営業費用】		
事業費	2,439,436	
管理費	766,848	3,206,284
営業利益		236,226
【営業外収益】		
財産貸付収入	10,170	
受取利息	1,094	
雑収入	99,988	111,252
【営業外費用】		
支払利息	9,451	
寄附金	490	9,941
経常利益		337,537
【税引前当期純利益】		337,537
【法人税等】		660
【当期純利益】		336,877

